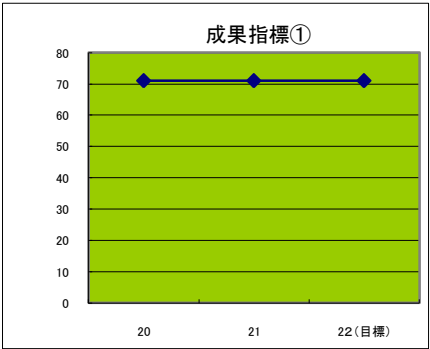
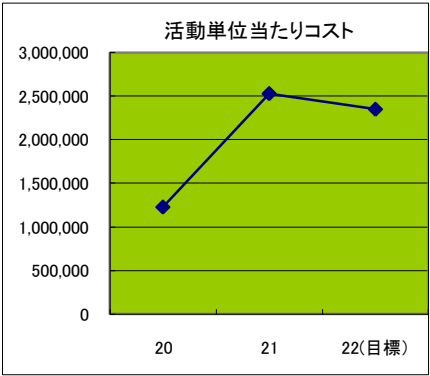


事務事業名		くるくるマーケット事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		款	4	衛生費
	施策(節)	6	リサイクル		項	2	清掃費
	施策の方向	(1)	ごみの減量化、再資源化の推進		目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
関連する計画等				事業	3	くるくるマーケット	
作成部署				生活環境部環境衛生課			
対象(誰を・何を)				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2830		
市内在住・在勤者							
意図(どういう状態にしたいのか)							
フリーマーケット通じて、3R(リユース・リデュース・リサイクル)の推進の啓発を図る。							
事業の内容				家庭で不要になった品物等を、単に廃棄するのではなく、必要とするように安価で提供をすることにより、提供する側と、される側の利益につながり、年に1回「はびきのコロセアム」において開催している。 出店料：1ブース500円			
根拠法令等							
事業開始時期				☐ 昭和 15 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			
事業開始時からの状況変化				平成19年度より出店料500円を徴収することとなった。			
市民や議会の要望							
実施手法				☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()			
委託先				☐ 市外郭団体委託 名称() ☐ 民間委託 ☐ その他			
				委託内容			

区 分		20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		100	100	100
人件費【2】 (千円)		1,125	2,430	2,250
職員数	正規職員	0.15 人	0.30 人	0.30 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.10 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		1,225	2,530	2,350
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	1,225	2,530	2,350
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 開催回数	回	1	1	1
② 出店応募者	人	123	96	100
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		1,225,000 円	2,530,000 円	2,350,000 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		10 円	21 円	20 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	フリーマーケット開催 における関心率	%		目標	71	71	達成率(%)	71
		(式) 出店数÷募集数×100			実績	71	71	100.0%	
	②				目標			達成率(%)	
		(式)			実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	3R推進の啓発や、廃棄物の減量化・再利用といった啓発事業としては必要がある。
		○						○	○		

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	出店者の多くは子供用の古着や、婦人物の古着等の販売が多く、リユース（再利用）の点から見ると妥当な事業である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	緊急性が認められる	☐	☐	☒	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	出店料の受益者負担を行う事により、コスト削減に取り組んでいる。
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	3R推進啓発に対しては有効な事業である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
	成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☐	☒	啓発事業の一環であり、市民との協働実施されている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	出店募集数に対し、2倍強の応募数であり、出店に関しては達成されている。
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☒ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	3R推進の啓発や、廃棄物の減量化・再利用といった啓発事業としては必要がある。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	市民協働の観点からみて、実行委員会型式等による運営の検討を行う。

行 事 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	